

S

THE SENDAI BANK
Disclosure

PRESSO

仙台銀行 2010年 ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレzzo]

お客さま目線の好動力
「笑顔、元気、提案力、スピード力」



ずっと、ずっと、
よろしくお願ひします

「お客さま目線の好動力」で皆さまのお役に立ちたい

資産運用サポートチームがスタート

お客さまの資産運用ニーズにスピーディーに対応するため、

当行は、平成22年4月に資産運用サポートチームを新設しました。

本店、石巻支店、古川支店、佐沼支店に配置したマネーアドバイザーは、

お客さまへ訪問し、一人ひとりにあった資産運用プランを設計・提案しています。

是非、私たち仙台銀行を、皆さまの資産運用パートナーとしてご活用ください。

「笑顔と元気」

専門の金融知識や金融商品はもちろんのこと、地域の皆さまに「笑顔と元気」をお届けすること、それが私たちの毎日の行動目標です。



「笑顔、元気、提案力、スピード力」、
これが私たちの好動力です



「提案力とスピード力」

刻々と変化する金融情勢等も踏まえ、お客さま一人ひとりにご満足いただける資産運用プランをスピーディーに提案すること、それが私たちの金融サービス品質です。



「好動力」

常にお客さまの目線に立って考え、行動することを、私たちは「お客さま目線の好動力」と表現し、銀行全体の行動指針としています。

S-PRESSO

「S」…………… SENDAI BANK

「press」…………… 内容の濃い情報発信

「O (ゼロ)」…………… 原点を忘れない

仙台銀行は、設立の原点である「宮城県の金融円滑化への貢献」が企業使命です。仙台銀行の業績やトピックスを2010年 ディスクロージャー誌 別冊「Spresso (エス・プレッソ)」に分かりやすく「濃縮」しましたので、どうぞご覧ください。

※2010年3月期の詳細な財務データにつきましては、「2010年 ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。



資産運用サポートチーム

contents

ずっと、ずっと、よろしくお願いします

頭取メッセージ 02

地域の皆さまとともに 06



- ◎ 仙台銀行の地域貢献活動 06
- ◎ 個人の皆さま 07
- ◎ 中小企業の皆さま 10
- ◎ 仙台銀行を希望する皆さま(人事・採用関係) 11
- ◎ トピックス 12
- ◎ 仙台銀行のCSR 13
- ◎ 仙台銀行のあゆみ 14
- ◎ 店舗ネットワーク 15

業績のハイライト(個別) 16



頭取メッセージ

President Message

仙台銀行 取締役頭取

三井 精一

「宮城県の金融円滑化への貢献」が
当行の企業使命

自動車工場進出により、中長期的な
経済波及効果が期待される宮城県経済

わが国の経済は、世界的な金融危機の影響で長らく低迷していましたが、海外経済の持ち直しや様々な景気対策の効果により、各種統計発表においても、ようやく回復に向けた動きが見られるようになりました。

しかしながら、今年5月にギリシャの財政危機等が表面化し、再び世界の金融市場が大きく混乱するなど、景気の先行きは不透明感を増す状況となりました。

宮城県の経済も、県内各地の当行支店長の経済動向報告を見ると、生産・雇用・消費ともに、まだまだ厳しい局面にあるというのが実感であります。

その一方で、宮城県では、セントラル自動車をはじめとする工場進出及び関連工事が本格化しており、今後は従業員の異



動や地元企業との取引も始まります。これらの工場進出により、中長期的に様々な経済波及効果が期待されていることは、当県の強みであり、非常に心強いことでもあります。

設立の原点に立ち返り、
企業使命の「宮城県の金融円滑化」に取り組む

中小企業の方々の厳しい経営環境等を踏まえ、平成21年12月に中小企業金融円滑化法が施行されました。当行は、本法に基づき、速やかに行内体制を整えるとともに、中小企業の方々と住宅ローン利用者からの相談と支援に積極的に対応し

ているところです。

当行の前身は、昭和26年に設立した「振興無尽株式会社」であり、その当時も現在と同様に、宮城県の中小企業の方々は、戦後の経済混乱の余波により、深刻な資金難にありました。そうした状況を打開するため、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏が、「宮城県の中小企業のために、新たな金融機関設立が必要である」と提唱し、宮城県や市町村、商工会議所、地元経済界等が出資して当行を設立された経緯があります。

これまで宮城県経済は、オイルショック、円高不況、バブル経済の崩壊など、幾多の試練を乗り越えてきましたが、今回の長引く景気の低迷は、中小企業の方々に、かつてないほど大きな痛手を与えています。

当行は、設立以来、県民銀行として、常に地域の中小企業の方々と一緒に歩んでまいりましたが、特に今回は、一刻も早い地域経済の回復に向けて、県民の方々から大きな期待が寄せられていると実感しています。

この期待に応えるため、当行は、改めて当行設立の原点に立ち返り、中小企業支援など、宮城県の金融円滑化に積極的に取り組んでいくことを、ここにお約束いたします。

平成22年3月期決算は増益決算となり、50円配当を実施

金融市場が緩やかに回復したことなどから増益決算を確保

平成22年3月期決算は、利回りの低下により、貸出金利息収入や有価証券利息配当金等が減収となりましたが、金融市場の緩やかな回復により、有価証券の減損処理が大幅に減少したことなどから、当期純利益は、単体ベースで9億93百万円、連結ベースで10億85百万円となり、2期連続の減収増益決算となりました。

また、貸出金・預金・預かり資産の各残高も、前年度を上回ることができました。中小企業向け貸出残高は、地域経済の低迷等により、前年度比で25億円減少となりましたが、政策融資

や地方公社向け融資を除いた場合は、同14億円の増加となりました。

年間配当は一株あたり50円を実施

配当については、平成21年9月に中間配当を実施せず、期末配当に一本化させていただくことになっておりましたが、平成22年3月期の期末配当は、定時株主総会のご承認をいただき、当初予定どおり1株あたり50円(年間50円)を実施させていただきました。

なお、金融環境等を踏まえ、平成22年度においても、中間配当は実施せず、期末配当に一本化させていただきます。安定した配当維持に努める方針に変更はなく、平成23年3月期の期末配当は、同期の純利益を8億円と予想していることなどから、1株あたり50円を見込んでいます。

株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画「好品質計画 —お客さま目線の好動力—」をスタート

「笑顔、元気、提案力、スピード力」の「好動力」を高め、 お客さまの金融ニーズへ対応

平成22年4月にスタートした新中期経営計画「好品質計画」(計画期間：平成22年度～23年度)は、前計画の基本的な考え方を継承・発展しつつ、「より多くのお客さまに支持・信頼をいただける銀行」を目指して、主要課題である「収益力の強化」、「内部管理態勢の徹底」、「企業風土の改善改革」に取り組んでまいります。

また、新計画策定にあたり、行内公募で行動スローガンを選定し、「お客さま目線の好動力」を掲げました。これは、役職員一人ひとりが「お客さまの目線」を大切に、「笑顔、元気、提案力、スピード力」などの「好動力」を銀行全体で高め、今まで以上に親切な応対ときめ細やかな金融サービスを提供していこうという、私たちの決意を表しています。

「収益力の強化」に向け、営業担当者を大幅に増員。 お客さまへの訪問活動を充実

仙台都市圏を中心に他県金融機関との競合が一段と厳しくなっており、新中期経営計画では、「現場主義の徹底」をキーワードに、役職員によるお客さまへの訪問・提案活動をさらに徹底し、金融サービスの一層の充実に取り組んでまいります。

具体的には、営業担当者をこれまでの170名から300名に大幅増員するほか、エリア営業体制を導入するなど店舗運営の見直しを進め、当行全体の営業体制を強化します。

例えば、中小企業向け融資については、エリア営業体制導入に伴い、法人融資専門チームの一部を営業店に再配置し、より地域に密着した営業体制とします。併せて、全体の営業担当者も増員し、中小企業の方々への企業支援活動をさらに充実します。

預かり資産は、平成22年4月に推進部に資産運用サポートチームを新設し、営業店に預かり資産担当の渉外担当者を配置しました。お客さまへの訪問を積極的に行い、資産運用に関する様々な情報提供と提案活動を行い、お客さまの資産形成にお役に立てるよう頑張っております。

住宅ローンは、セントラル自動車の従業員移住などによる住宅需要に対応するため、仙台市泉区や大和町・富谷町・利府町などの営業店を中心に、住宅ローン専担者を配置しました。また、本店の住宅ローンプラザの機能も高め、お客さまのご相談に迅速に対応できる体制としています。

これらの一つひとつの営業活動を着実に充実・強化し、宮城県の地域金融機関として、地域の方々の期待に応えられるよう業績向上に取り組んでまいります。

「好品質計画」とはなにか

当行は、地域のお客さま・株主さま・当行職員など、当行と関わりを持つ様々な方々に、今まで以上に愛着をもって「好き」になっていただける銀行になることを目指しております。この目標に向けて、銀行の「品質」である私たち役職員一人ひとりの対応力をさらに高めていく決意を込めて、中期経営計画名称に、一般的な「高品質」ではなく、「好品質」の表記を用いています。

「お客さま目線の好動力」とはなにか

当行は、「好品質計画」の精神のもと、役職員一人ひとりが「お客さま目線」を大切にし、現場訪問を徹底して、お客さまのニーズを的確にとらえてまいります。併せて、「笑顔、元気、提案力、スピード力」などの「好動力」を銀行全体でさらに高めて、お客さまのニーズに迅速に対応してまいります。

「好品質計画 —お客さま目線の好動力—」の概要

【企業使命】

【めざす姿】

【計画目標】

宮城県の金融円滑化への貢献

より多くのお客さまに
支持・信頼をいただける銀行

1. 収益力の強化

中小企業融資・預かり資産・住宅ローンの営業担当者の増員やエリア営業体制の導入などにより、お客さまへの訪問・提案活動をさらに強化し、お客さまのニーズに適確に対応することで、競争力と収益力を向上させてまいります。

- ◎営業担当者増員、店舗運営の見直し
- ◎預金、預かり資産強化
- ◎中小企業支援の強化
- ◎経営効率化の一層の推進
- ◎住宅ローン、個人ローン強化

2. 企業風土の改善改革

新人事制度の導入により組織全体の活性化に取り組むとともに、研修体制をさらに強化し、金融円滑化・企業支援等にかかわるスキル向上を目指してまいります。

- ◎新人事制度の導入・定着
- ◎研修体制の強化
- ◎人材育成への取り組み

3. 内部管理態勢の徹底

法令等遵守体制の徹底に向けて、研修の充実、事務フローの見直し、情報管理を徹底するとともに、金融危機の教訓を踏まえて、リスク管理体制のさらなる徹底に取り組めます。

- ◎内部管理態勢の強化

過去の不祥事件や事務ミスを踏まえ、 改めて「内部管理態勢の徹底」

新中期経営計画では、「内部管理態勢の徹底」を重要課題として位置づけ、健全な業務運営を通じて地域社会への貢献に取り組んでまいります。

過去の不祥事件や個人情報紛失事件の反省と教訓を踏まえ、改めて、それらの再発防止に向けて、当行グループ全体で、法令等遵守態勢、顧客保護態勢、利用者利便性の向上に向けた取り組みを徹底してまいります。

併せて、世界的な金融危機の教訓も踏まえたうえで、リスク管理態勢のさらなる強化に取り組み、業務運営の健全性を一層高めてまいります。

活力ある「企業風土」を醸成するため、 人材育成に積極的に取り組む

銀行業は、役職員一人ひとりが生み出す無形の対応力が企業活動の源であり、取扱業務が多様化するなか、人材育成の重要性がさらに増しています。

新中期経営計画では、銀行の「品質」である役職員一人ひとりの対応力を高めることを重要課題として位置づけており、より質の高い金融サービスを提供するため、職員やパートナー職員の人材育成・能力開発に積極的に取り組んでまいります。

例えば、当行は、県内の主要産業である農業分野への融資にも積極的に取り組んでおり、既に農業経営アドバイザー資格取得者が6名誕生しているほか、農商工連携の機運の高まりを受け、本部に農業融資の担当者を2名配置しています。

併せて、より活力のある企業風土を醸成するため、新人事制度・賃金制度を平成22年8月に導入すべく準備を進めております。

お客様の「声」は、 当行の業務改善の道標である

ご不満やご要望を寄せてくれるお客様こそ、 大切にしなければならない

当行は、新中期経営計画目標である「より多くのお客様に支持・信頼をいただける銀行」を目指すため、お客様からお寄せいただく「声」を大切に、経営改善に取り組んでいます。

具体的には、営業店窓口において、通年で「お客様満足度アンケート」(ハガキ)を配布しているほか、本部の「お客様センター」において、当行へ寄せられるご不満やご要望など、全ての「お客様の声」を一元的に管理・分析・対応しております。

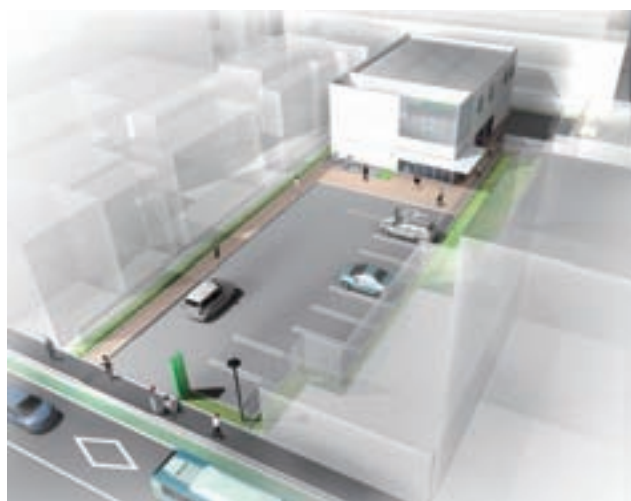
これらの「お客様の声」は、本部と営業店で共有し、直ちに改善できるものは速やかに対応するとともに、対応に時間を要するものについても真剣に検討し、少しでもご要望にお応えできるよう努力しております。

例えば、使いやすい駐車場への要望は非常に多く、これまで新築した古川支店や佐沼支店、さらには現在新築中の荒町支店においては、お客様の声に基づき、駐車場を優先した店舗レイアウトを導入し、たいへん好評を得ております。

私は日頃より、役職員に対して「ご不満やご要望を寄せてくれるお客様が一番大切である」と話しております。そうした厳しい声にこそ、当行がお客様からの支持を高めていくために取り組むべきことが、数多く含まれているからです。是非、これ^{きたん}からも忌憚のないご意見を当行へお寄せください。

当行は宮城県の中企業の方々と一緒に歩む地域金融機関として、皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。

今後も一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



荒町支店完成予想図

President Message

仙台銀行の地域貢献活動

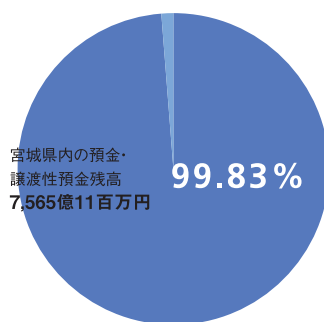
仙台銀行の地域貢献とは

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の金融円滑化への貢献」が、当行の企業使命であり、地域貢献と考えております。

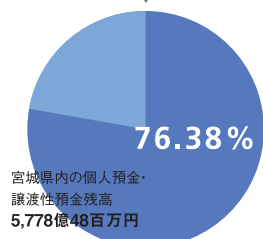
当行は、宮城県全域から広く預金をお預かりするとともに、地域経済発展や県民生活向上のため、県内の中小企業や個人の方々に、事業資金貸出や住宅ローン等により円滑に資金を供給しております。また、経営相談やコンサルティング業務、セミナー等を通じて、中小企業の皆さまの活動を多面的に支援しております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解とご満足をいただけるよう努めてまいります。

■ 預金・譲渡性預金残高の内訳
(平成22年3月末現在)



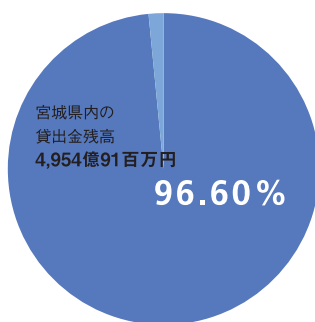
預金・譲渡性預金残高
7,578億20百万円



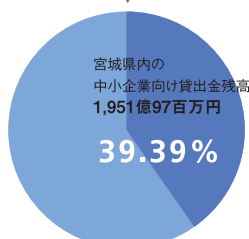
宮城県内の個人預金・
譲渡性預金残高
5,778億48百万円

宮城県内の預金・譲渡性預金残高
7,565億11百万円

■ 貸出金残高の内訳
(平成22年3月末現在)



貸出金残高
5,129億57百万円



宮城県内の
中小企業向け貸出金残高
1,951億97百万円

宮城県内の貸出金残高
4,954億91百万円

当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,578億20百万円のうち、宮城県内のお客さまより7,565億11百万円をお預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.83%となっております。

そのうちの76.38%を占める5,778億48百万円を、宮城県内の個人のお客さまからお預かりしております。

当行の貸出金の状況

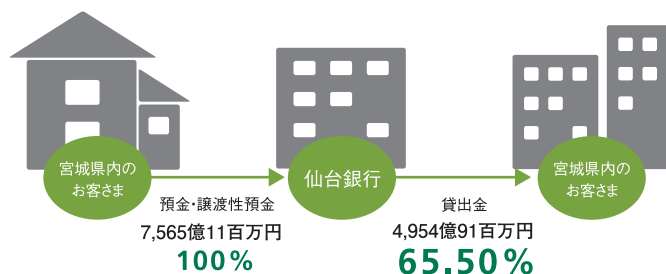
当行の貸出金残高5,129億57百万円のうち、宮城県内のお客さまへの貸出金残高は4,954億91百万円となっており、当行の貸出金残高の96.60%となっております。

そのうち39.39%を占める1,951億97百万円を宮城県内の中小企業の方々にご融資しております。

県内への資金供給

当行は、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金7,565億11百万円の65.50%を宮城県内のお客さまへご融資し、地域への円滑な資金供給を行っております。

■ 当行における宮城県内預金・譲渡性預金と貸出金の状況 (平成22年3月末現在)

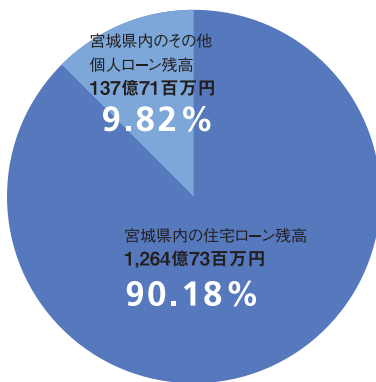


個人の皆さま

県内の住宅ローン残高

当行の宮城県内の個人ローン残高1,402億44百万円のうち、住宅ローン残高は1,264億73百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の90.18%を占めております。

■宮城県内の個人ローン残高の内訳 (平成22年3月末現在)



宮城県内の個人ローン残高
1,402億44百万円



住宅ローンプラザ

住宅ローンについて、ゆっくりご相談いただくために、本店に住宅ローンプラザを設置しております。平日はもちろんのこと、日曜日でも「ローン日曜相談会」を開催しており、専門のスタッフがローン等のご相談に応じております。

また、毎月第2日曜日には、支店でも「ローン日曜相談会」を開催しております。開催店等については、下記フリーダイヤルまたはホームページでご確認ください。

[本店住宅ローンプラザの営業時間]

	平日	日曜相談会
営業時間	9:00~19:00	10:00~17:00
休業日	土曜日・祝日・振替休日・年末年始	年末年始
場所	本店ビル 5階	
お問合わせ先	フリーダイヤル 0120-3000-39	

住宅ローンへの取り組み

◎ ず〜っとマイナス金利プラン

「2年固定・3年固定・5年固定」の固定金利選択型住宅ローン(自動更新型)を新規でご利用される方を対象に、「ず〜っとマイナス金利プラン」を取り扱っております。

◎ 新築・借換住宅ローン

住宅の新築・増改築等をお考えの皆さまや、他の金融機関から住宅ローンの借換をご希望される皆さまを対象に、ローン金利を一新した「新築・借換住宅ローン」を取り扱っております。(平成22年9月30日まで)

◎ ご来店不要型仮審査

住宅ローンのご利用を考えていても、銀行の窓口へ来店する時間がとれない皆さまのニーズにお応えするため、「ご来店不要型仮審査」の受付を行っております。

スーパーフリーローン

個人のお客さまを対象に、「スーパーフリーローン」を取り扱っております。お使いみちが原則自由なので、ご好評をいただいております。電話やファックス、郵送のほか、インターネットでも仮審査のお申込みができます。



カードローンS

「カードローンS」は、レジャーや旅行、ショッピングなど、暮らしに必要な資金として、限度額の範囲内であれば何回でも繰り返しお借入れいただける、個人のお客さま向け小口カードローンです。

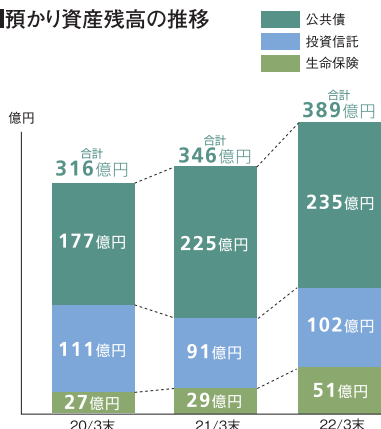


個人の皆さま

預かり資産残高

当行の公共債及び投資信託、生命保険を対象とした預かり資産残高は389億49百万円となっております。

■預かり資産残高の推移



(注1) 生命保険:個人年金保険 + 一時払終身保険
(注2) 生命保険残高は成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

預かり資産への取り組み

◎投資信託

お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えするとともに、ライフプランに合った資産形成のお役に立てるよう、様々な投資信託商品を取り揃えております。

平成22年6月から、新たに投資信託商品に3商品を追加いたしました。

◎生命保険

お客さまの様々なライフプランにお応えするため、多彩な保険商品を取り揃えております。

平成22年6月から、新たに生命保険商品に学資保険等の2商品を追加いたしました。

◎資産運用セミナー

お客さまに資産運用についての理解を深めていただくため、資産運用セミナーを随時開催しております。



資産運用セミナー

株式会社 仙台銀行
登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号
加入協会:日本証券業協会

金融商品に関する勧誘方針

当行は金融商品の販売等にあたり、以下の方針に沿って適切な勧誘を行います。

- 1 わたしたちは、金融商品の内容を十分に熟知したうえで、その内容を正しくお客さまにご説明いたします。また、断定的な判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
- 2 わたしたちは、お客さまご自身のご判断によりお取引いただけるよう、リスク内容などの重要な事項について、書面での交付その他の適切な方法によりご理解をいただくよう努めます。
- 3 わたしたちは、お客さまのご迷惑となる時間帯には、金融商品の勧誘は行いません。なお、事前にお客さまのご了解をいただいている場合を除きます。
- 4 わたしたちは、お客さまに金融商品に関する十分かつ的確な情報を提供するため、当該金融商品に関する商品特性、事務処理要領などの習得、研さんに努めます。
- 5 わたしたちは、お客さまの知識、経験、財産状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らし配慮すべき事項を踏まえ、適切な商品の勧誘を行います。
- 6 わたしたちは、金融商品販売法、金融商品取引法及び関係法令等を遵守し、適切な勧誘が行われるよう、内部体制の強化に努めます。

当行では、お客さまからの苦情、ご要望に対する相談を承っておりますので、ご遠慮なく営業店窓口までお申しつけ下さい。

伊達な預金シリーズ

地域の皆さまが、当行の預金商品にさらに親しみと愛着をもっていただけるよう、平成21年11月から「伊達な預金シリーズ」を展開しております。

第1弾として、ご退職金向け定期預金「政宗」や年金受給者向け定期預金「愛姫」を販売しており、たいへんご好評を得ております。

第2弾として、平成21年12月1日から平成22年2月26日の期間限定で、冬のボーナスシーズンにあわせ、特別金利定期預金「小十郎」(店頭表示金利+年0.2%・預入期間1年)を販売しました。

また、夏のボーナスシーズンにあわせて、平成22年6月1日から7月30日までの間、再度、取扱期間限定の特別金利定期預金「小十郎」(店頭表示金利+年0.3%・預入期間3年)を販売しております。



第3弾(平成22年5月17日) 預金通帳等のデザインを刷新

宮城県の皆さまに馴染みの深い「伊達」にちなみ、当行の預金通帳、定期預金証書、キャッシュカードのデザインを旧仙台藩の古地図を用いたデザインに刷新しました。

これは、伊達政宗(1569年～1636年)の死後間もない正保2～3年(1645年～1646年)ごろの仙台城下絵図(財団法人斎藤報恩会さま所蔵)をもとにデザインしており、仙台城の城郭部分が相対的に大きく描かれているのが特徴です。



夏の感謝祭「伊達・湯浴行」^{ゆあみこう}

平成22年6月1日から、夏の感謝祭「伊達・湯浴行」を実施しております。日頃から当行をご愛顧いただいておりますお客さまへ感謝をこめて、抽選で遠刈田温泉「温泉山荘 だいごんの花」1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたします。(平成22年7月30日まで)



遠刈田温泉「温泉山荘 だいごんの花」

中小企業の皆さま

金融円滑化に向けた取り組み

当行は、平成22年1月に金融円滑化に関する基本方針等を制定し、地域における金融の円滑化に積極的に取り組んでおります。

また、休日電話相談窓口を設置し、中小企業融資や住宅ローンのご返済等に関するご相談に応じております。貸付条件の変更等に係る苦情相談専用窓口も設置しております。



法人融資専門チーム

宮城県全域の中小企業の皆さまを支援するため、本店(仙台市)のほか、古川支店(大崎市)、岩沼支店(岩沼市)、石巻支店(石巻市)の3か店に法人融資専門チーム分室を配置しています。

中小企業等の皆さまの事業ニーズに迅速かつ的確に対応し、地域に密着した相談・提案活動を展開しています。



DIPファイナンス

民事再生手続を申立し、現在、事業再生に取り組んでいる地元の事業者さまに対して、平成22年1月に再生支援及び雇用の安定確保のため、運転資金融資(DIPファイナンス)を実施いたしました。



仙台銀行ビジネスクラブ

「仙台銀行ビジネスクラブ(略称SBC)」は、お取引先の事業者の方を会員として構成しており、平成22年3月末現在の会員数は595社となっております。

平成22年6月に、税理士の千葉和彦氏を招き、「経営計画セミナー」を開催しました。このセミナーでは、経営体質を変えるため、会社の経営計画・経営戦略の立て方等を学びました。



経営計画セミナー

農業経営支援への取り組み

農業分野への経営面や資金面での支援をさらに充実するため、農業経営に強い人材育成、宮城県農業信用基金協会との信用保証契約締結による農業融資等に取り組んでおります。

また、平成22年2月のビジネスクラブ交流会においては、「アグリテイストin宮城」を開催し、地産地消の推進及びビジネスチャンスの拡大に取り組みました。



アグリテイスト in 宮城

ABL保証融資

宮城県信用保証協会のABL保証(流動資産担保保証融資制度)を活用して、平成21年度は食肉加工品や販売用DVDなどを担保とした運転資金融資を実施いたしました。

今後も、不動産担保に過度に依存しない融資制度を活用し、地元中小企業の皆さまの多様化する資金調達ニーズに積極的に対応してまいります。



仙台銀行を希望する皆さま(人事・採用関係)

当行は、「お客さまにご満足いただくためには、職員一人ひとりがやりがいを持って働くこと」が重要であると考えております。職員一人ひとりの特性や能力を生かすため、当行は、さまざまな人事制度・採用制度を導入しております。

新卒・中途採用

当行は、自分の力を地域へ役立てたいというチャレンジ精神旺盛な学生の皆さんを募集しております。

また、多様化する銀行業務に対応するため、銀行・保険・証券会社等の金融機関経験者や、豊富な専門知識・経験を持つ人材を募集しております。

社内FA制度

職員の意欲向上と能力開発を目的として、「社内FA(Free Agentフリーエージェント)制度」を導入しております。

これは、一定の資格要件(業績達成、勤続年数等)を有する職員に対して、職務及び勤務地の希望を申請する機会を与えることで、人事異動に職員の希望を今まで以上に反映させる制度です。

インターンシップ

学生の皆さんに金融知識を学び、銀行業務を体験してもらうために、インターンシップを実施しております。

インターンシップでは、普通預金口座の開設や預金窓口などのお客さま対応のほかに、挨拶や電話応対等のビジネスマナーをカリキュラムに取り入れております。

パートナー職員制度

非正規職員の戦力化を図るために、「パートナー職員制度」を導入しております。

パートナー職員は、短時間パートナーとフルタイムパートナーに分かれております。フルタイムパートナーは、勤務時間が正規職員と同一であり、必要資格の取得等により、正規職員への登用も可能となっております。平成22年4月に、当行で初めて、5名のフルタイムパートナーを正規職員に登用しました。

また、結婚や出産、育児等を理由として過去10年以内に退職した当行元職員をフルタイムパートナーとして再雇用しております。



詳しくは、当行ホームページ「採用情報」をご覧ください。

トピックス (平成21年4月～平成22年6月)

Topics	
平成21年	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ◎一時払終身保険2商品を追加 (平成21年4月1日) ◎「みやぎネット」サービスを開始 (平成21年4月13日) ◎「借換住宅ローン5年固定特別金利プラン」を販売 (平成21年4月22日～平成22年3月31日) 
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成21年6月1日～7月31日) ◎「特別金利定期預金」を販売 (平成21年6月1日～7月31日) ◎あったかプラザ名取が丘 (名取が丘出張所) オープン (平成21年6月8日)
7月	◎あったかプラザ高清水 (高清水出張所) オープン (平成21年7月6日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ◎「特別金利定期預金」を販売 (平成21年9月1日～10月16日) ◎「スーパーフリーローン」をリニューアル (平成21年9月11日) 
11月	<ul style="list-style-type: none"> ◎「伊達な預金シリーズ」の取り扱い開始 第1弾:ご退職金向け定期預金「政宗」及び年金受給者向け定期預金「愛姫」を販売 (平成21年11月2日) ◎秋季講演会を開催 (平成21年11月13日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ◎「冬の感謝祭 伊達・湯浴行」を実施 (平成21年12月2日～平成22年2月26日) ◎「伊達な預金シリーズ」 第2弾:特別金利定期預金「小十郎」を販売 (平成21年12月2日～平成22年2月26日)  
平成22年	
1月	◎新春経済講演会を開催 (平成22年1月8日)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ◎借換住宅ローン「換得キャンペーン」を実施 (平成22年2月1日～3月31日) ◎あったかプラザ太白 (太白出張所) オープン (平成22年2月22日)
3月	◎あったかプラザ鶴が丘 (鶴が丘出張所) オープン (平成22年3月15日)
5月	◎「伊達な預金シリーズ」 第3弾:預金通帳等のデザインを刷新 (平成22年5月17日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◎「夏の感謝祭 伊達・湯浴行」を実施 (平成22年6月1日～7月30日) ◎特別金利定期預金「小十郎」を販売 (平成22年6月1日～7月30日) ◎投資信託3商品及び生命保険2商品を追加 (平成22年6月10日) 

みやぎネット

平成21年4月から、宮城県内の提携7金融機関(※)のATMにおいて、ATM相互利用サービス「みやぎネット」を実施しております。

平日8:45～18:00までカードによるお引出し手数料が無料でご利用いただけます。

※仙台銀行・七十七銀行・杜の都信用金庫・宮城第一信用金庫・石巻信用金庫・仙南信用金庫・気仙沼信用金庫



営業店レター

宮城県内の営業店職員が、毎月、それぞれの取引先企業や地域の行事等を取材し、その魅力を当行ホームページで紹介しています。



宮城町支店

仙台銀行のCSR

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取り組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来18年間での助成累計は、70先、総額855万円となっております。



平成21年度助成先 NPOゲートシティ多賀城(多賀城市)

職場見学

小学生や中学生を対象に、「銀行の仕事」をより理解してもらうことを目的に、本店及び支店において職場見学を行っております。平成21年度は18回開催しました。

職場見学では、銀行業務の説明やお札の数え方体験、銀行窓口の見学等を行っております。詳しくは、当行ホームページ「仙台銀行をみてみよう」をご覧ください。



大宮支店

地域行事への参加

本店のある仙台市では、1月の「どんと祭」、5月の「仙台青葉まつり」、8月の「七夕まつり」と四季折々に行事が開催されます。当行は地域の一員として、積極的にこれらの行事に参加しております。

また、各支店の所在地で行われる行事にも積極的に参加し、地域の皆さまと一緒に地元の活性化に協力しております。



仙台青葉まつり

みやぎっこ子育て家庭応援事業

「みやぎっこ子育て家庭応援事業」とは、宮城県と市町村が協賛店等と連携・協力しながら、子育て家庭を地域全体で支援するため、平成20年6月から実施している事業です。

当行は、県内全営業店において、「みやぎっこ応援カード」を提示したお客さまに景品をプレゼントしております。



講演会

平成21年11月に開催した秋季講演会では、毎日新聞特別編集委員の岸井成格氏を講師に迎えて、「今後の政局を読む」をテーマにご講演いただきました。

平成22年1月に開催した新春経済講演会では、放送ジャーナリストの平野次郎氏を講師に迎えて、「これから世界はこうなる」をテーマにご講演いただきました。



毎日新聞特別編集委員
岸井成格氏



放送ジャーナリスト
平野次郎氏

無料法律相談室

当行顧問弁護士による無料法律相談を本店2階相談室にて毎月開催しております。(予約制)

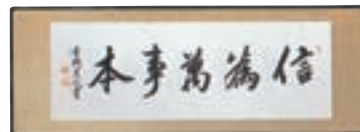
相談日時	毎月第2金曜日 (休日の場合は次週の金曜日) 13:00~15:00
予 約	相談日前日13:00まで
お問合わせ先	企画部企画課 022-225-8241 (代表)

CSR: Corporate Social Responsibilityの略。企業が果たすべき社会的責任。

仙台銀行のあゆみ

戦後の経済混乱も治まりつつあった昭和26年、宮城県下の商工業界の資金難から金融の円滑化が強く叫ばれていた中、各地商工会議所等商工団体の要望に応え、当時の宮城県知事佐々木家寿治氏が金融機関設立を提唱し、宮城県が資本金の4割を出資し、昭和26年5月25日、当行の前身である振興無尽株式会社が誕生いたしました。

行是「信を万事の本と為す」に立脚し、公正明朗かつ堅実な業務運営により、設立の使命である国民貯蓄の増強と中小企業金融の円滑化に寄与することを経営理念に掲げ、昭和26年7月5日に創業いたしました。



行是「信を万事の本と為す」(しんをばんじのもととなす)
我が国銀行の創始者であり、
経済道徳合一主義の
提唱者である渋沢栄一氏の揮毫



本店社屋(昭和29年~44年)

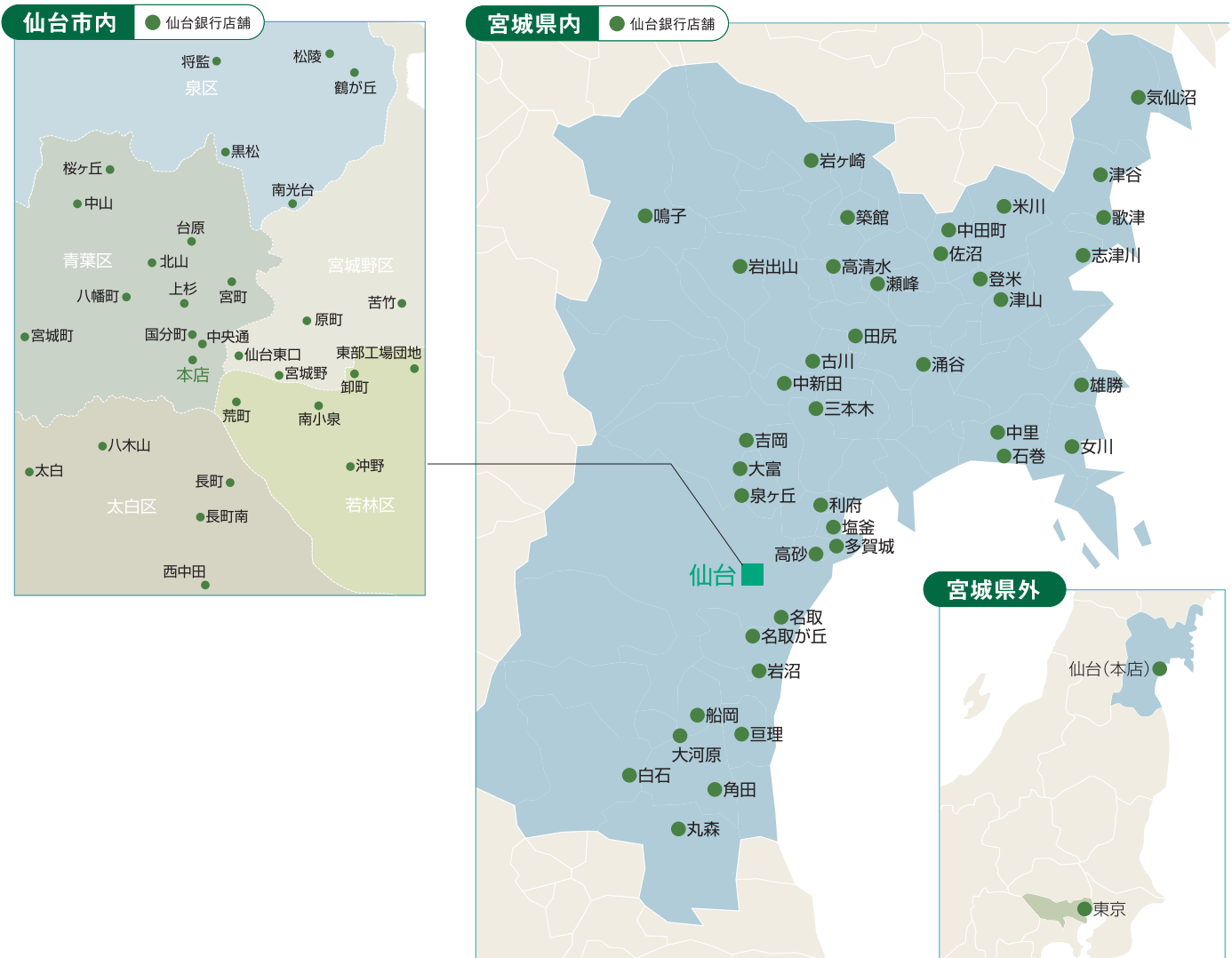
昭和26年	1951年5月	振興無尽(株)設立	平成14年	3月	東北第二地方銀行5行によるATM提携サービス開始(東北おむすび隊)
	7月	業務取扱開始		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プラン」開始
昭和27年	1952年5月	相互銀行法の施行により(株)振興相互銀行と商号変更		8月	四半期情報開示の開始
昭和36年	1961年7月	創業10周年		10月	生命保険の窓口販売開始
昭和44年	1969年5月	新本店落成開店(現本店)	平成15年	2003年2月	大東銀行仙台支店営業譲受け
昭和46年	1971年7月	創業20周年	平成16年	2004年2月	住宅ローンプラザ開設
昭和49年	1974年3月	資金量1,000億円達成		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プランII」開始
昭和56年	1981年7月	創業30周年	平成17年	2005年4月	「好品質計画」開始
昭和58年	1983年4月	公共債の窓口販売開始	平成18年	2006年4月	中期経営計画「好品質計画」開始
昭和59年	1984年9月	外国為替公認銀行として業務開始		5月	セブン銀行とのATM提携開始
昭和61年	1986年3月	資金量3,000億円達成		11月	岩手銀行とのATM相互開放開始(グリーンネット)
平成元年	1989年2月	普通銀行へ転換し(株)仙台銀行に商号変更	平成19年	2007年6月	本店ビル耐震工事完了
平成2年	1990年5月	第三次オンライン(勘定系)開始	平成20年	2008年4月	中期経営計画「新・好品質計画」開始
	7月	仙銀ビジネス(株)設立	平成21年	2009年4月	県内7金融機関のATM相互開放開始(みやぎネット)
平成3年	1991年7月	創業40周年	平成22年	2010年4月	中期経営計画「好品質計画—お客さま日線の好動力—」開始
平成4年	1992年4月	公益信託「仙台銀行まちづくり基金」設立認可			
平成6年	1994年3月	預金高5,000億円達成			
	7月	振込機能付ATMによる為替振込サービス取扱開始			
平成7年	1995年7月	カードによるATM預入サービス開始			
平成8年	1996年3月	メールオーダーサービス開始			
平成10年	1998年3月	徳陽シティ銀行からの営業譲受けに関する契約を締結			
	4月	ATM祝日稼働開始			
	11月	徳陽シティ銀行営業譲受け完了(譲受け店舗19ヵ店、うち既存店舗2ヵ店統合)			
		預金高7,000億円達成			
平成11年	1999年2月	普通銀行転換10周年			
平成12年	2000年4月	仙銀カード(株)設立(同年6月営業開始)			
	5月	新オンラインシステム稼働開始			
平成13年	2001年7月	創業50周年			
平成14年	2002年1月	ATM365日稼働開始			



本店(昭和44年竣工)

店舗ネットワーク

当行は、営業店71カ店のうち70カ店、並びに229台のATM(CDを含む、店舗内ATM132台・店舗外ATM97台)を宮城県全域に配置し、お客さまの利便性の向上に取り組んでおります。(平成22年6月末現在)

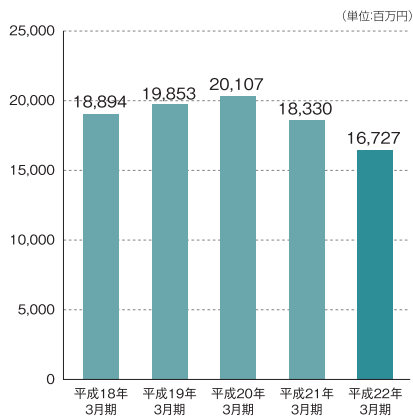


業績のハイライト(個別)

The highlight of achievements

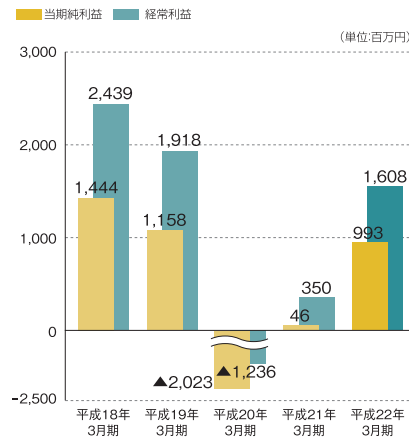
経常収益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が減少したことなどから、167億27百万円(前年同期比8.7%減)となりました。



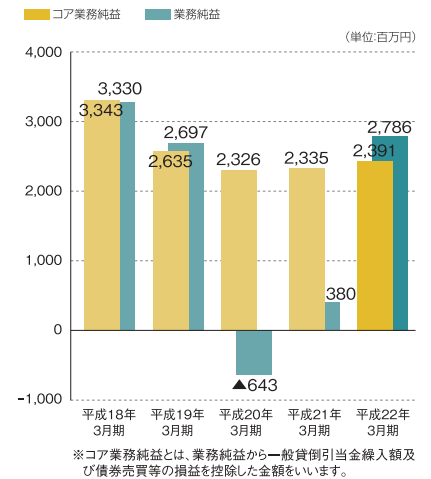
経常利益・当期純利益

経常利益は、貸倒償却引当費用が増加したものの、金融市場が緩やかに回復し、有価証券の減損処理額が大幅に減少したことなどから、16億8百万円(前年同期比358.9%増)、当期純利益は9億93百万円(前年同期比2,032.9%増)となりました。



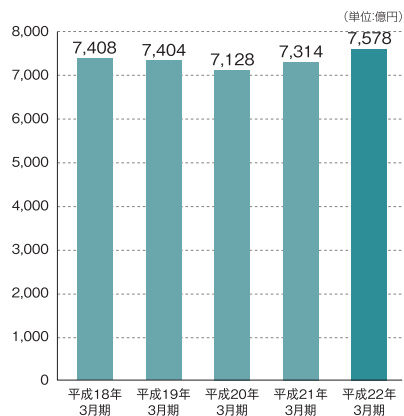
コア業務純益・業務純益

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、金融派生商品(金利仕組みローン等)の評価損益が改善したことなどから、23億91百万円(前年同期比2.3%増)となりました。



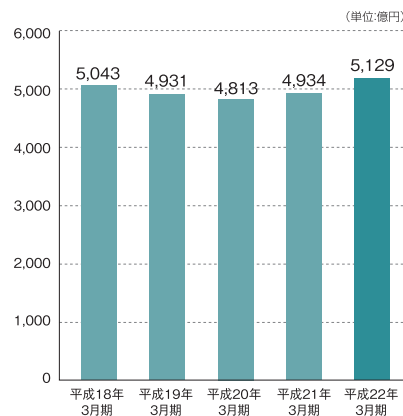
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金をはじめ、公金預金などが堅調に推移したことなどから、7,578億20百万円(前年同月比3.6%増)となりました。



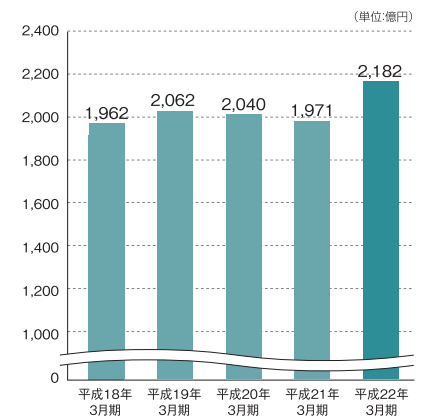
貸出金残高

貸出金残高は、地域経済の低迷により借入れ需要が低下したことなどから、中小企業向け貸出が減少したものの、住宅ローンや地方公共団体向け貸出が堅調に推移したことなどから、5,129億57百万円(前年同月比3.9%増)となりました。



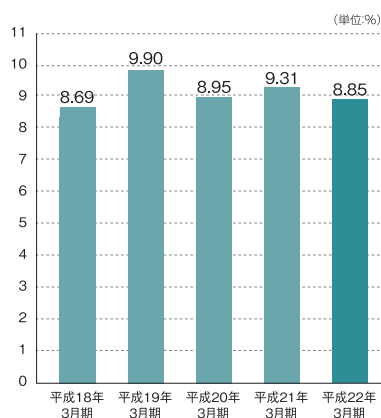
有価証券残高

有価証券残高は、2,182億62百万円(前年同月比10.6%増)となりました。



単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、前年同月比0.46ポイント低下し、8.85%となりました。



格付

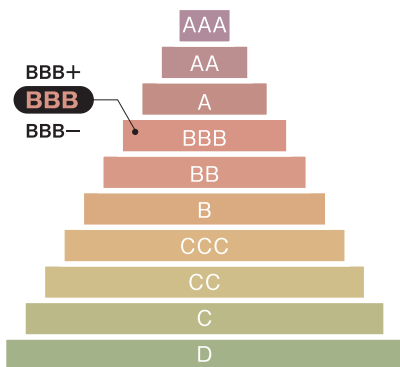
当行では、第三者による評価をととして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しております。

格付機関
株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類
長期優先債務格付

格付
BBB(トリプルBフラット)

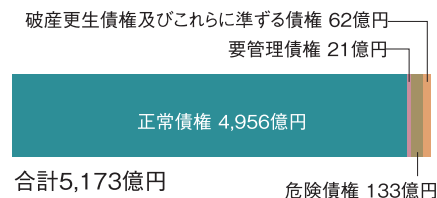
見通し
安定的



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返等)のうち、正常債権以外の債権額は、216億87百万円(前年同月比13億42百万円減)となりました。

金融再生法に基づく開示債権額(平成22年3月末現在)



金融再生法開示債権の保全内訳

(平成22年3月末現在、単位:百万円)

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)	
		担保・保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,201	6,201	4,970	1,230	100.00%
危険債権	13,357	12,974	11,697	1,277	97.13%
要管理債権	2,128	1,556	1,235	321	73.15%
正常債権	495,640	263,158	262,230	928	53.09%
合計	517,328	283,890	280,134	3,756	54.87%

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

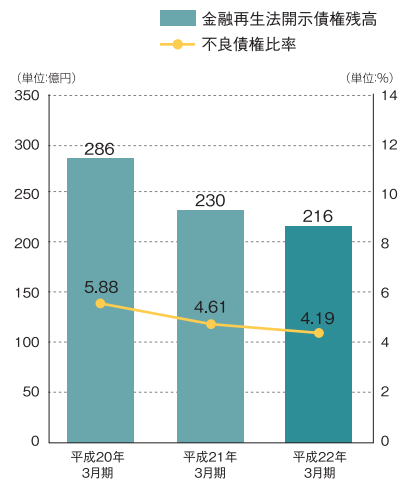
要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

不良債権比率の推移



好品質計画[◎]

仙台銀行

仙台銀行の概要 (平成22年3月末現在)

創 業	昭和26年7月5日
資本金	74億85百万円
本 店	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
店舗数	71カ店 (宮城県内70カ店、東京1カ店)
行員数	822人 (男子572人、女子250人)
預金・譲渡性預金	7,578億円
貸出金	5,129億円

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241 (代)
平成22年7月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



このカタログは大豆油インキで印刷しています